

# 学園事務室から

## 学園施設

### 最近の改善状況

暫く前まで、学校というものは、校舎が薄暗くて独特の雰囲気を持っている」というのが世間相場になっていました。麻布学園もこの間に漏れず、どの建物も全体的に暗い感じで、更に、「教室や構内がきたない」というような芳しくない評判までありました。

ところが、最近では近代的な施設を有する学校が続々と現われ、我々としても何らかの対応をせざるを得ない事態を迎えました。このような状況を踏まえ、学園でも、創立一〇〇周年を一つの機会として、安全性については当然のことながら、利便性と快適性にも神経を使い、より良い教育環境の実現を目指してまいりました。

以下に、ここ数年間の工事実績をご紹介します。(なお、創立一〇〇周年記念館については、既にご紹介しておりますので、今回は省略させていただきます)

#### 「安全面」

- ・耐震補強工事

- ・管理棟・特別教室棟補強実施

#### 施設

- ・理科棟・講堂補強実施・理科棟非常階段改修

- ・「教育環境面」

- ・ 体育館改修
- ・ 多目的体育施設新設
- ・ 運動場改修
- ・ 同スプリンクラー設置
- ・ 全ての教室に冷暖房設備設置
- ・ 化学実験室改修
- ・ 中庭(全天候コート)改修
- ・ コンピュータ教室新設
- ・ 多摩川グランド(野球場)改修
- ・ 「その他」



昔は農園だった、多摩川グランド全景

- ・ 女性用手洗所の拡充
- ・ 管理棟一階・講堂地下の女性用手洗所を全面改修
- ・ 体育館前・教室棟一階を部分改修
- ・ PTA室新設
- ・ 教員喫煙室新設 (大山)

## 拾得物の行方

一般社会と同じように、学校の中でも色々な落とし物があります。昨年の例では、ベスト5は 財布・定期入れ 鍵 時計 筆箱 眼鏡の順になっていますが、中には、シヤツや運動靴も結構あります。また、最近では携帯電話やCD・MD等も出てきました。さすがに財布・定期入れ・眼鏡の場合には比較的早く落とし主が現われますが、落とし主の手元に戻るものは全体の約四割というところで、世の中がそれだけ豊かになったということでしょうか。

これらの拾得物は学園が保管しますが、落とし主が現われない場合には、ある一定期間が経過後、学園の所定の手続きに従い処分しています。時計などは、有効活用するため、社会事業団体に寄付しています。主に、森林破壊が進む発展途上国への植林活動を進めている財団法人へのバザー提供品としての寄付です。金額的には僅かと思われませんが、ここ数年間このような活

動を行ってきた結果、援助を受けた国の子供達からお礼の絵葉書が届いたこともあります。このような時には、拾得物が新しい命を得たよう、心温まる思いがします。写真左(関)



## 自動販売機が充実しました

昨年4月から、管理棟の地下に清涼飲料水の自動販売機を設置しましたが、生徒に大人気で、昨年一年間で合計六万五千本も売れました。

学園には、従来、紙パック入りの牛乳を中心とする自動販売機コーナーがありました。が、時代の流れで、校外の自動販売機で購入する生徒が増え、学園としても頭を痛めていました。(学園近辺には、明らかに麻布生を自当てにしたと思われる自動販売機が増え

てきました。)生徒の要望も動かしながら慎重に検討の結果、思い切った学園内に自動販売機コーナーを作った経緯があります。

内容的にはミネラルウォーター・スポーツドリンク・お茶を中心に揃え、健康上問題と思われる炭酸飲料類は一切入れていませんが夏場には特にペットボトル入りの飲み物に人気があります。

価格が市価よりも安いこともあり、生徒が休み時間に飲み物を買いに校外に出ることも少なくなつたようです。

ご存知のとおり、最近では、ゴミの分別やリサイクルが強く叫ばれています。学園でも生徒が校外の自動販売機で買った飲み物の空き缶、ペットボトルの処理に悩まされてきました。その間色々と工夫をしてみました。が、余り旨くいかずに困っていたところ、飲料メーカーの協力で空き缶・ペットボトルの回収が進み、一挙に問題が解決しました。(関)